

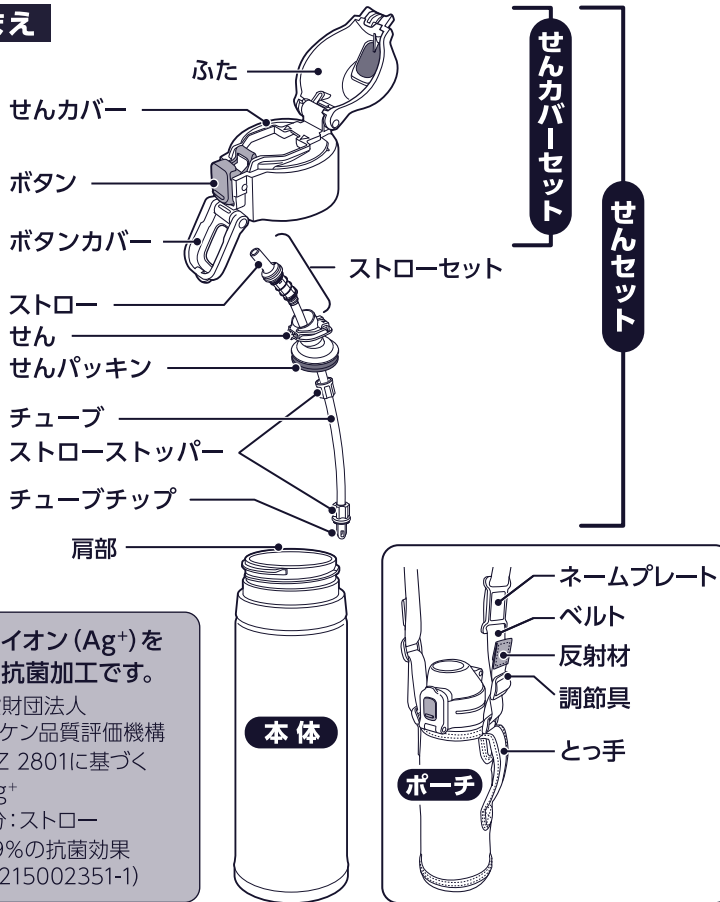
取扱説明書

ステンレス クールボトル SD-CB 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品が取りつけ
られていることをご確認ください。

各部のなまえ



ストローは銀イオン (Ag⁺) を
配合したAg⁺抗菌加工です。
試験機関：一般財団法人
ボーケン品質評価機構
試験方法：JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法：Ag⁺
抗菌の対象部分：ストロー
試験結果：99.9%の抗菌効果
(試験番号 20215002351-1)

●ご購入の製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、飲み物の変質・変色や 製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

保護者の目の届かないところで使用させない。
また、乳幼児のいたずらには十分注意する
けがの原因になります。

ポーチを使用するときは、ベルトが素肌に
直接あたらないようにする
肌にこすれてけがの恐れがあります。

ポーチのベルトを首に掛けたまま遊ばない。
また、周囲の物に引っ掛けないよう注意する
窒息の恐れがあります。

ポーチのベルトを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

せんセットは確実に取りつけて使用する。
また使用後はふた・ボタンカバーを閉める
漏れて車内・衣類・バッグなどを汚す原因になり
ます。

熱い飲み物は絶対に入れない
●湯が飛び出し、やけどの原因になります。
●誤って飲むとやけどや窒息の原因になります。

飲み物の保冷以外に使用しない
冷たい飲み物を入れての保冷を目的としたもの
です。

使用後はすぐに本体内部をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

本体外部の底に貼っている底シールは
絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。



改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

缶やびんなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る
●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・
メラミンスポンジなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。
●塩素系漂白剤は使用しない さびや穴あき (本体内部) など故障の原因になります。
●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。
●丸洗いできますが、つけ洗い (水中に放置) はしない

せんセット・ボタンカバー・ふた・ストローを
持って運んだり、振り回さない
指をはさんだり、落としたりしてけがの原因に
なります。また、ふた・ボタンカバー・ストロー
の破損の原因になります。

ストローセット・せん・せんパッキン・
チューブ・ストローストッパー・
チューブチップは必ずつけた状態で使用する。
漏れて車内・衣類・バッグなどを汚す原因になります。

本体内部のフッ素樹脂コーティングを傷つけない
傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。

自動車走行中は飲まない
車内・衣類・バッグなどを汚す原因になります。
また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、
非常に危険です。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また長時間放置した場合は
腐敗によりガスが発生し、本体内部の圧力が上がり、
せんセットをはずすときにせんセットが飛ん
だり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して
飛散することがあり危険です。

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎてせんセットを取りつくと、
飲み物があふれる
原因になります。
また、あとから
漏れ出すことが
あります。



顔などを近づけた状態でボタンを押さない
ストローやふたが飛び出しますので、顔などに
当たると危険です。

ふたを開けたまま本体を傾けない
漏れて衣類などを汚す原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

電子レンジでの加熱はしない
火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因に
なります。

直火 (ガス台など) や電気ヒーター・IH調理器・
IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・故障の原因になります。

次の物は絶対に入れない
●ドライアイス・炭酸飲料など
本体内部の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内部は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保冷性能が低下
する原因になります。
●牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内部の圧力
が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
●果肉・お茶の葉など
詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

ご注意とお願い

ポーチやベルトに破れ、ほつれ等が発生した
場合は使用しないでください。
破れ、ほつれの箇所によっては、製品 (本体) が
落下し危険です。

ポーチを使用しないときは、通気性の良い場所
に保管する
湿度の高い状態になるとシワが出る場合があり
ます。

ポーチのベルトは洗わない
反射材がはがれ、反射性能が低下する原因になり
ます。

ポーチのベルトが濡れたまま放置しない
雨や水で濡れたまま放置すると、ベルトの反射材
が劣化することがあります。すぐに水分をふき取
るなどのお手入れをしてください。ふく際には強
くこすらないでください。

反射材を強くこすらない
反射性能が低下する原因になります。

製品専用の部品以外は取り付けない
漏れや故障の原因になります。

使用後は必ずせんセット (ふた・せん・せんパッ
キン・ストローセット・ストローストッパー・
チューブ・チューブチップ) をきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になり
ます。また飲み物が漏れる原因になります。

湿度が高いときに冷たい飲み物を入れると、
せんセットに水滴がつく場合があります。
バッグなどには縦置きにして入れてください。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、
こすったりしない
はがれる原因になります。

お子様がストローを噛んだりしないよう
ご注意ください。
ストローが変形し、漏れの原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面が
へこみ、保冷性能が低下することがあります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ
小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、
変形し、故障の原因になります。

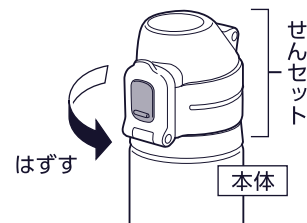
使い方

●ご使用前にせんセット・本体内部・本体外部を、
お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

せんセットは、下記のような状態ではつけはししない
・ポーチをつけた状態 ・ふたやボタンカバーが開いた状態 ・ボタンカバーを持ったままの状態

1 本体からせんセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。



2 冷たい飲み物を入れる

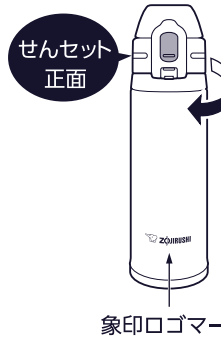
point
あらかじめ本体に少量の冷水を
入れ、1分程度予冷するとより
効果的です。



3 せんセットを取りつける

ふたとボタンカバーを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、
確実に取り付けます。せんセットはおとなの方が取りつけてください。

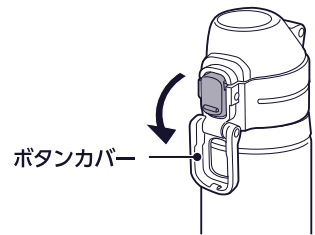
●せんパッキンが正しく取り付けられていることを
確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因に
なります。P.9~12 「せんセットの組立方法」参照)
●せんセットは本体を立てた状態で、象印ロゴマークと
せんセットの正面が合う位置まで、確実に取りつけて
ください。
●本体を逆さにして漏れのないことを確認してくだ
さい。漏れた場合は再度お手入れを行い
(P.13、14 「お手入れ」参照)、「使い方 2」から
はじめてください。



使い方 つづき

4 ふたを開けて飲み物を飲む

①本体を立てた状態で、ボタンカバーを矢印の方向に開ける



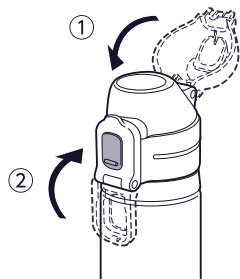
②ボタンを押してふたを開け、ストローから飲み物を飲む



5 飲み終わったら、ふたを閉める

①本体を水平で平らなところに置いた状態で、ふたをカチッと音がするまで確実に閉める

②ボタンカバーをカチッと音がするまで確実に閉める

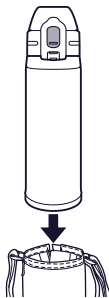


●バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。

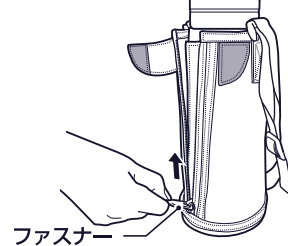


ポーチの装着方法

1 本体をポーチに入れる



2 ファスナーを上げる



●ファスナーは確実に最後まで閉めてください。

3 ファスナーカバーをしっかりと閉める



●面ファスナーは確実に閉めて使用してください。

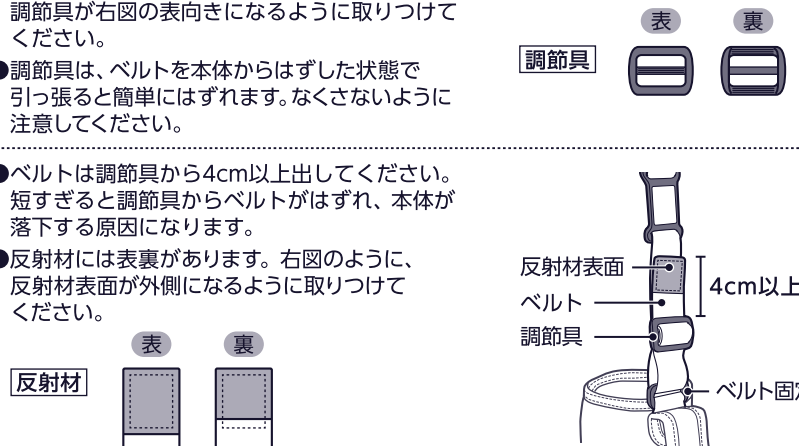
ポーチのベルトについて

●調節具には表裏があります。はずした場合には、調節具が右図の表向きになるように取りつけてください。

●調節具は、ベルトを本体からはずした状態で引っ張ると簡単にはずれます。なくさないように注意してください。

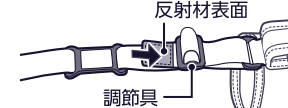
●ベルトは調節具から4cm以上出してください。短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する原因になります。

●反射材には表裏があります。右図のように、反射材表面が外側になるように取りつけてください。

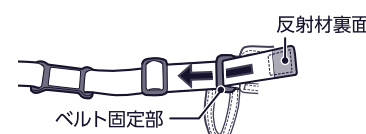


■はずし方

①ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具からはずす



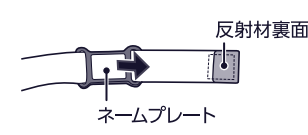
②ベルトをベルト固定部からはずす



③ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具をはずす



④ネームプレートをはずす



取り付け方は、はずし方の逆手順で行ってください。

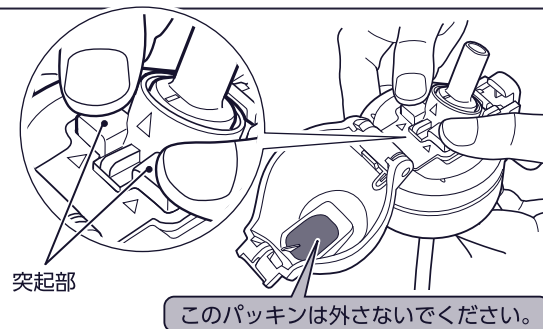
せんセットの分解方法

●組立方法はP.9～12参照

1 せんセットを本体からはずす

2 せんをはずす

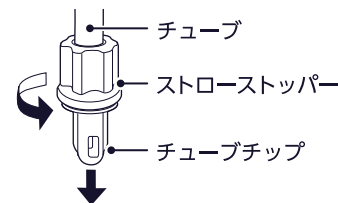
ふたを開けた状態で、図のようにせんセットを持ち、せんのうしろ側の突起部を押し込んで、せんをはずします。



3 チューブチップをはずす

ストローstopperを矢印の方向に回し、チューブチップをはずす

ストローstopper・チューブチップは紛失しないよう注意してください。



せんセットの分解方法 つづき

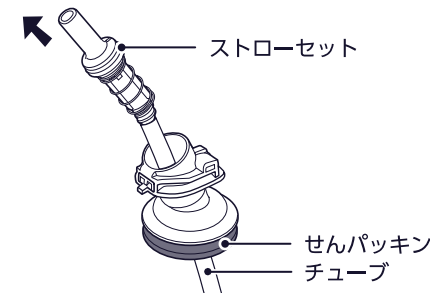
4 ストローstopperをはずす

ストローの先を押し込みながら、ストローstopperを矢印の方向に回し、はずす

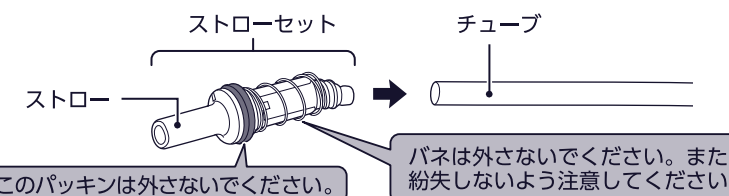
ストローstopperは紛失しないよう注意してください。



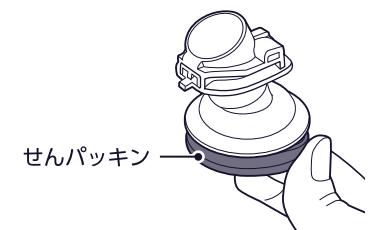
5 ストローセットを矢印の方向へ抜く



6 ストローセットからチューブを取りはずす



7 せんパッキンを取りはずす



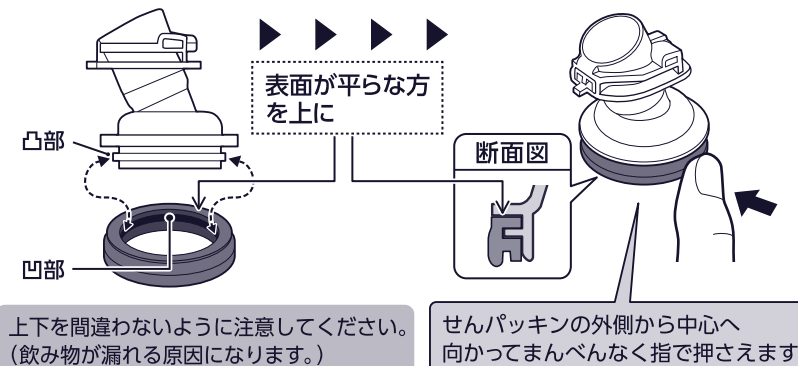
せんセットの組立方法

- せんカバーセット・せん・せんパッキン・ストローセット・ストローstopper・チューブ・チューブチップは、正しく取りつけてください。（作動不良・飲み物が漏れる原因になります。）
- 分解方法はP.7、8参照

SD-CB / C

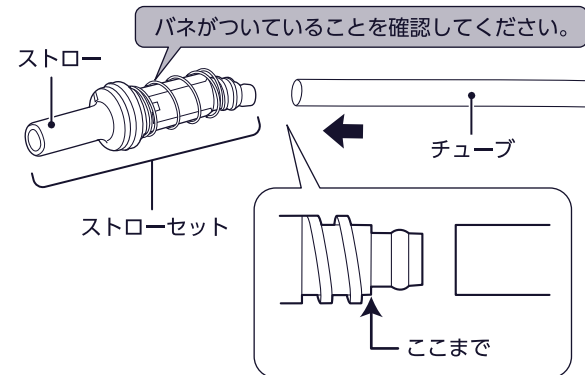
① せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。



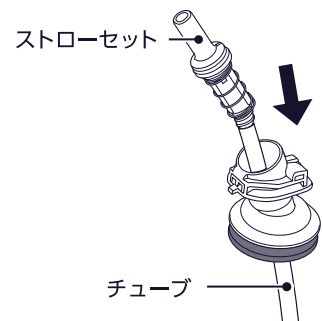
② チューブをストローセットに取りつける

チューブをストローセットに端面が当たるまで取りつける (P.11 **注意** 参照)

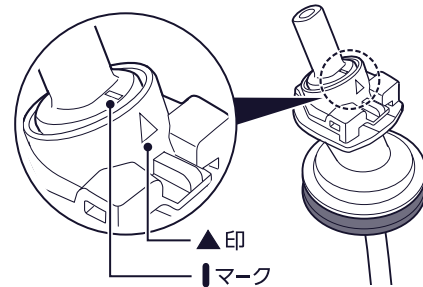


③ ストローセットをせんに入し込む

①せんの上方向からストローセットを差し込む



②せんの▲印にストローの■マークを合わせ、ストローを奥まで押し込む

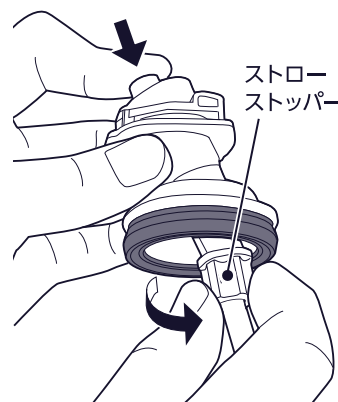


④ ストローstopperを取りつける

①ストローstopperをチューブに差し込み、ストローセットまで移動させる

②ストローの先を押し込みながら、ストローstopperを矢印の方向に回し、取りつける

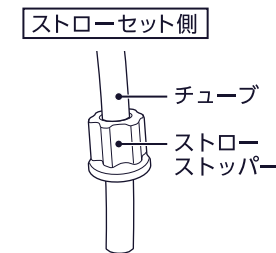
- ストローstopperを強く回しすぎないでください。（変形の原因になります。）
- ストローstopperはイラストの方向で取りつけてください。



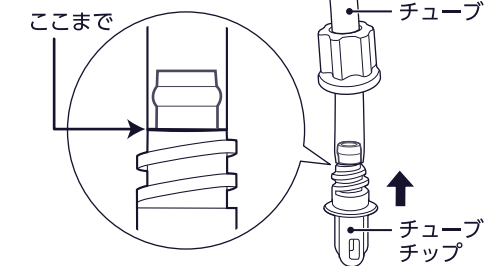
⑤ チューブチップを取りつける

①ストローstopperをチューブに通す

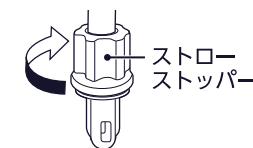
ストローstopperはイラストの方向で取りつけてください。



②チューブチップをチューブの端面に当たるまで取りつける

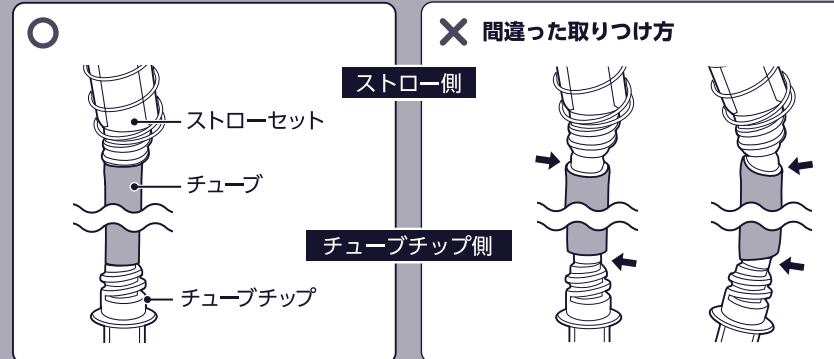


③ストローstopperを矢印の方向に回し、取りつける



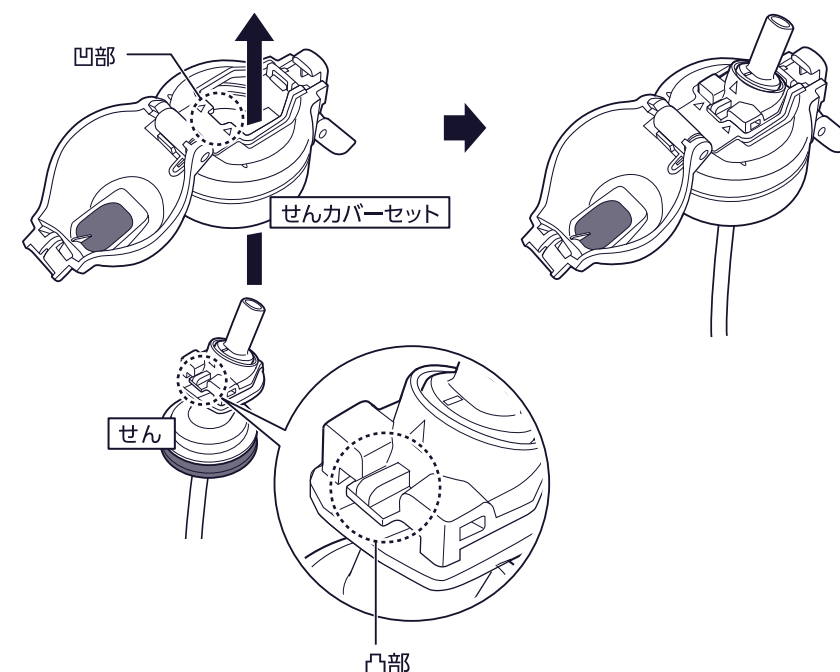
注意 チューブの取り付けについて

チューブにストロー・チューブチップを取りつける時は、チューブの端面が当たるまでしっかり取りつけてください。



⑥ せんを取りつける

せんカバーセットの凹部とせんの凸部を合わせ、せんを下から押し上げ、奥までしっかり取りつけます。



お手入れ

- においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 必ず分解してからお手入れをしてください。（P.7、8「せんセットの分解方法」参照）

本体外側 せんセット	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる ●せんセットは、せん・せんパッキン・ストローセット・ストローストッパー・チューブ・チューブチップをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは分解した状態で洗浄、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
本体内側	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。
ポーチ	ネットに入れ洗濯機の手洗いコースまたはドライコースで洗い、日陰でよく乾燥させる ●手洗いをする場合は、水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。 ●洗濯乾燥機では乾燥させないでください。 ●エタノールやアルコールを含む洗剤・シワ取り剤・防水スプレーなどは使用しないでください。 ●アイロンは使用しないでください。 ●ポーチの絵柄やぬい目部分はつめや固いものでひっかいたりこすったりしない はがれやほつれの原因になります。
ベルト	柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってからふく ●ネームプレートをはずしてからふいてください。 ネームプレートのシールがはがれる原因になります。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。

本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・メラミンスポンジ・クレンザーなどは、使用しないでください。
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いができますが、つけ洗い（水中に放置）はしないでください。
- 本体を丸洗いたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。
製品を損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10％加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。（P.13、14「お手入れ」参照）

茶しぶなどのお手入れ

本体内側・せんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 **ピカボトル**」をご利用ください。（別売品）(P.16参照)
●ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

Q&A

症 状	原 因	処 置
せんセットから飲み物が漏れる	ストローセット・せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	ストローセット・せんパッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。（P.9～12「せんセットの組立方法」参照）
	ふた・せん・せんパッキン・ストローセットが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。（P.13、14「お手入れ」参照）
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。（P.2 飲み物の位置 参照）
飲み物（本体内側・せんセット）がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・せんセットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。 汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。（P.13、14「お手入れ」参照）
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていませんか。	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。 予冷するとより効果的です。（P.4「2 冷たい飲み物を入れる」参照）
本体を振ると「シャカシャカ」という音をする	保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。 異常ではありません。	
せんセットを取りつけた状態で製品を振ると「カラカラ」という音をする	チューブ先端のストローストッパー・チューブチップが本体内側に当たって出る音です。異常ではありません。	

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。（ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照）

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号	△△表示は部品色柄番号です。 お求めの際は製品の色柄までご指定願います。 (底面シールに表示) <表示例> SD-CB50-△△ ←色柄
せんカバーセット	BS174802L-△△	
せん(せんパッキンつき)	S83-6B	
せんパッキン	BB640025M-00	
替えストロー（ストローセット・ストローストッパー・チューブ・チューブチップつき）	ST-06-6B	
ポーチ	BB678801N-△△	
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01	

- せん・せんパッキン・ストローセット・ストローストッパー・チューブ・チューブチップは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。
- 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06)6356-2451 (有料)
- FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143 (有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社